

QUESTORY'S MESSAGE

仕事が出来る人は「道具」を大事にします



■ 話題の店だけど、何となく感じが悪い

先日、メディアにも取り上げられ、話題になっている築地の和食のお店に行きました。カウンターだけの10名も入れればいっぱいと言うお店です。2週間ほど前に一度行ったのですが、満席で入れずに今回が二度目の訪問です。この日も席のほとんどが埋まっていましたが、運よく席が空いたので、座ることが出来ました。

初めての店って慣れるまでちょっと緊張しますよね。しかもこの店は常連さんが多い店でした。みんな親しげに料理長と会話を交わしながら食事やお酒を楽しんでいます。オーナーが築地の仲卸しの方と言うだけあって、品数は多くはないのですが魚料理がお薦めようです。早速メニューを見ながらオーダーをしました。

出てきたお刺身や焼き物は、少量が物足りないけど新鮮で評判通りのおいしさです。煮物もおいしい味付けです。しかし、何となく感じがよくないのです。常連さんに交じっていることもありますが、それだけではないみたい……。何だろかと気になっていたのですが、はあ〜ん、これだなと感じたことがありました。

料理長は一人で料理を手際よく作っています。カウンター席なので料理しているところが自然と目に入ります。見ていると小さなタッパーウェアから薬味などの材料を出し後、そのタッパーウェアをもとにあった場所に投げるように戻すのです。料理長は手馴れているようで、ぶつかる音がしても気にしていません。しかし、こちらは気になるのです。

■ タッパーウェアも大事な仕事の道具です

たかがタッパーウェアでも、料理の大事な道具です。その道具を投げる料理人は人気店であろうともダメです。料理人特有の“いなせ”なスタイルのつもりかもしれませんが、目の前でやられたらちょっと興ざめです。客であるこちらまで大事にされていないような気になってきます。正直言ってプロのいやな驕りさえも感じました。

気に入らなければすぐに出てしまえばいいのですが、今回のようにカウンターだけで常連さんに囲まれているとそうもいきません。オーダーした料理が出てこないうちから帰るわけにもいきません。もしかしたら、週末で疲れているから個人的にそう感じるだけかなあ、そんな風にも思えてきました。(まあ、疲れたから気分直して飲みたいんですけどね)。

でもいっしょに言った仲間もタッパーウェアを投げるところを見て同様に感じていました。他の客はまったく気になっていないようなので、いつものことで慣れているのでしょう。些細なことと言えばその通りです。しかし、これはやはり納得がいきません。というわけで、追加オーダーもせずに、早々に切り上げて店を出ました。

■ 野球が上手くなるには道具を大事にすること

メジャーリーグで活躍するシアトルマリナーズのイチロー選手は、道具をととても大事にすることで知られています。子供向けの野球教室でも、“野球が上手くなるには道具を大事にすることです”と繰り返し語っています。イチロー選手は、負けた試合でも試合終了後にロッカーに帰って来ると、必ずグローブをピカピカに磨いて手入れをするそうです。

凡打や空振りをするとバットをたたきつける選手がいます。イチロー選手も一度だけバットを投げたことがあるそうですが、その後で嫌な気持ちになり二度としないと決めたそうです。「作ってくれた人の気持ちを考えて、僕はバットを投げることも、地面に叩きつけることもしません。プロとして道具を大事に扱うのは当然のことです」と語っています。

道具を大事にするのはスポーツの世界だけではなくありません。ドイツ語の通訳をしている方から聞いた話ですが、モーターショーで来日していたドイツ車のブースの施工を担当している職人たちが、言葉は通じなくても日本の大工さんたちと道具を見せ合いながら会話を交わっていたそうです。大事にしている道具でコミュニケーションが出来るんですね。

■ 習慣として身についた性格は変えられる

職種は違っても、どんな仕事にも道具が必要です。個人的な印象ですが、仕事出来る人は道具をととても大事にします。例えば、話し終えた電話機をそっと戻します。ボールペン1本、消しゴムひとつにしても無駄にしません。道具のメンテナンスも定期的に行っています。いい仕事をするには、いつでもトラブルなく快適に使える道具が必要だからです。

おそらく築地の料理長は道具の扱いに問題があるとは自分では感じていないでしょう。なぜならば、積み重ねてきた習慣がそうさせているからです。“習慣は第二の天性”と言いますが、生まれながらの天性の性格を変えることは難しいかもしれませんが、習慣として身についた性格は変えることが出来ます。道具の使い方も習慣を変えればいいのですから。

築地のお店も料理や飲み物の味に対するこだわりがあるので、常連客が付いているのだと思います。しかし、商売はオーケストラの演奏のようなものです。弦楽器や金管楽器の演奏がどんなに優れていても、打楽器のリズムがちょっと崩れれば演奏はバラバラになっ

■ 今週の POINT

“野球が上手くなるには道具を大事にすることです”と語るのはメジャーリーグで活躍するイチロー選手。いい仕事をするには、いつでもトラブルなく快適に使える道具が必要だからです。だからこそ、仕事出来る人は「道具」を大事にします。